

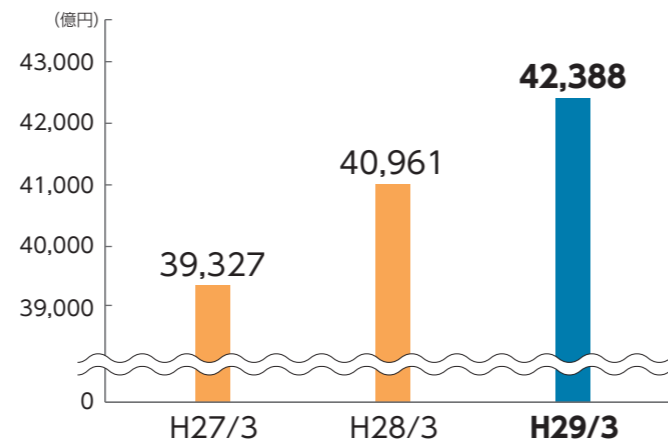
業績ハイライト

平成29年3月期の業績につきましては、預金および貸出金の残高は順調に増加しました。また、収益面では、経常利益は172億39百万円、当期純利益は116億16百万円となりました。

預金残高

4兆2,388億円
(年間増加率3.4%)

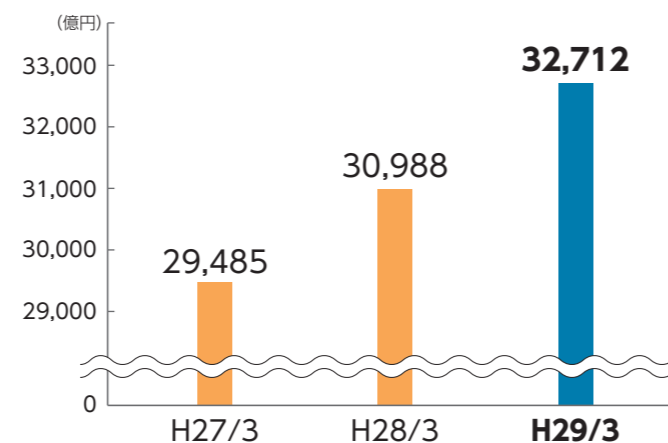
給与振込や年金振込の取引拡大による個人預金を中心に、前期比1,426億円増加し、4兆2,388億円(年間増加率3.4%)となりました。



貸出金残高

3兆2,712億円
(年間増加率5.5%)

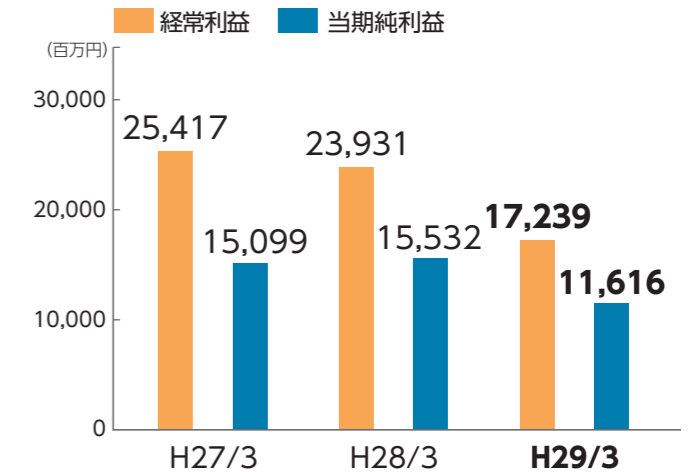
住宅ローンを中心とする個人向けや、中小企業向けの貸出推進に積極的に取り組んだ結果、前期比1,723億円増加し、3兆2,712億円(年間増加率5.5%)となりました。



経常利益・当期純利益

経常利益 **172億円**
当期純利益 **116億円**

経常利益は前期比66億92百万円減少し、172億39百万円、当期純利益は前期比39億15百万円減少し、116億16百万円となりました。

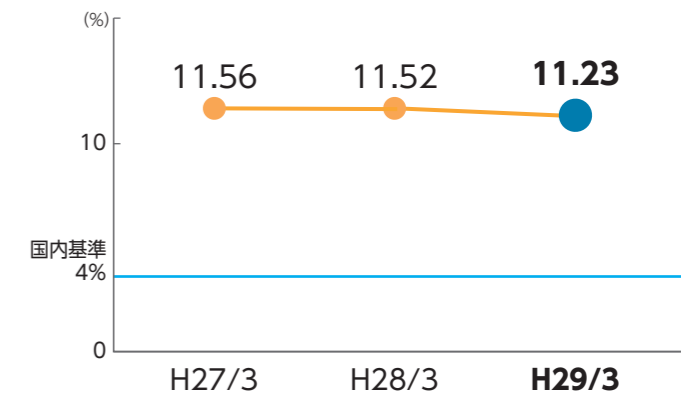


自己資本比率

11.23%

自己資本比率は、前期比0.28ポイント低下し、11.23%となりましたが、依然高い水準を保っています。

なお、平成28年5月に自己株式3百万株(12億69百万円)を取得しています。

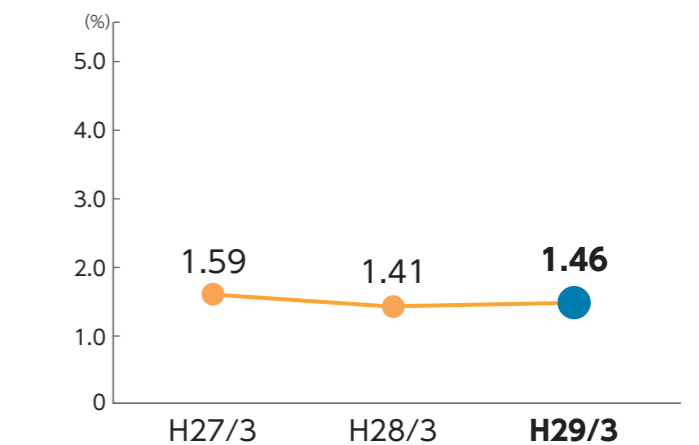


不良債権比率 (金融再生法基準)

1.46%

金融再生法基準の不良債権比率は0.05ポイント上昇したものの、1.46%と引き続き高い健全性を維持しています。

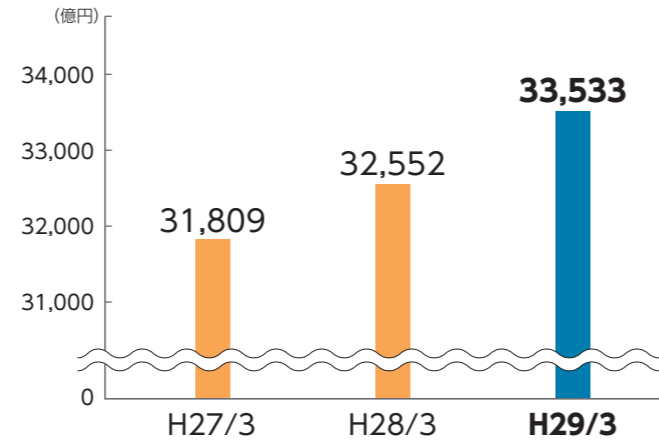
※不良債権比率は、数値が小さいほど健全性が高いことを示しています。



個人預金残高

3兆3,533億円

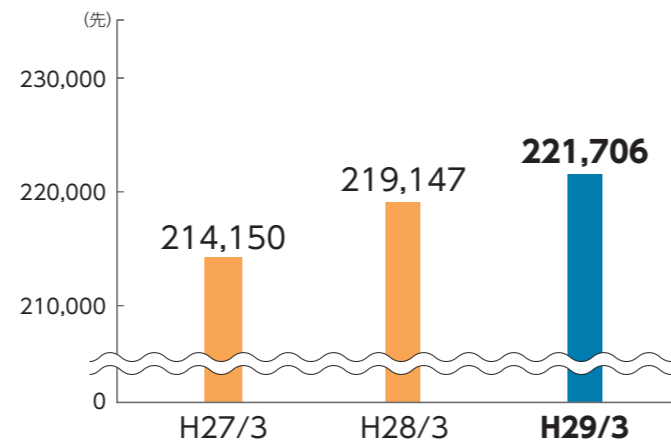
年金受取指定先数および給与振込指定先数が順調に増加したこと等により、個人預金残高は前期比981億円増加し、3兆3,533億円(年間増加率3.0%)となりました。



年金受取指定先数

22万先

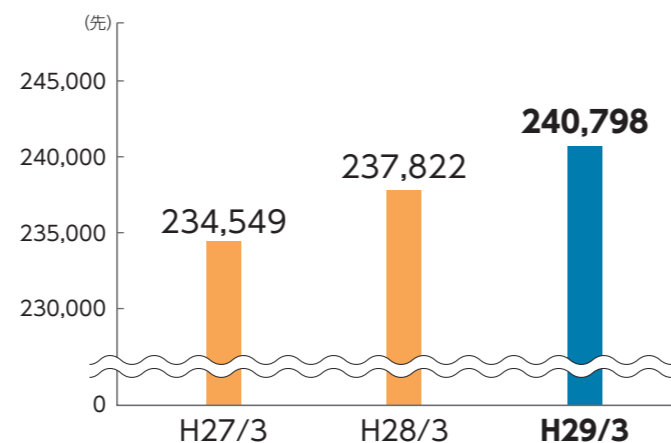
社会保険労務士による個別年金相談会や年金セミナーを開催し、複雑な年金制度の説明や年金請求書作成等のサービスが、ご好評いただいています。年金受取指定先数は年間で2,559先増加(年間増加率1.1%)しました。



給与振込指定先数

24万先

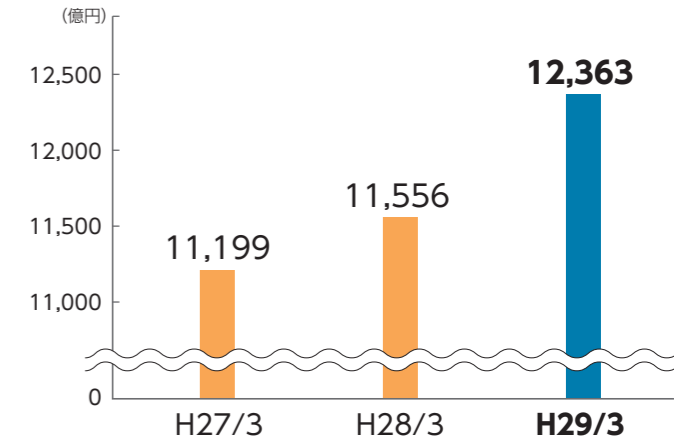
住宅ローン等をご利用のお客様を中心に給与振込のご指定をいただいています。また、若年層のお客様に向けた、給与振込のキャンペーンも実施しています。給与振込指定先数は年間で2,976先増加(年間増加率1.2%)しました。



中小企業向け貸出金残高

1兆2,363億円

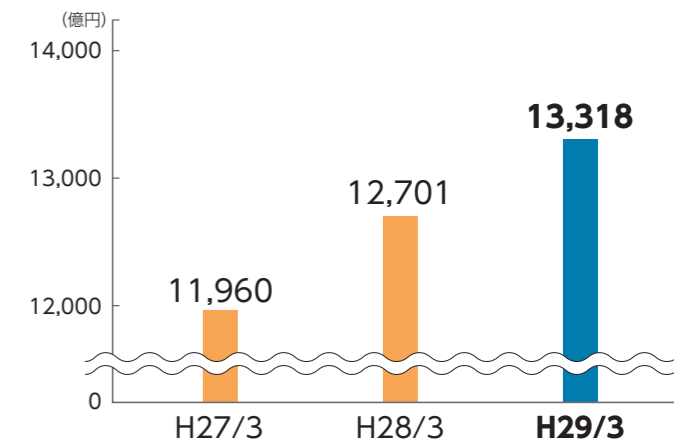
成長分野を中心に中小企業のお客さまへの貸出に積極的に取り組んだ結果、中小企業向け貸出金残高は前期比807億円増加し、1兆2,363億円(年間増加率6.9%)となりました。



住宅ローン残高

1兆3,318億円

お客様の住宅資金ニーズに積極的にお応えした結果、住宅ローン残高は前期比616億円増加し、1兆3,318億円(年間増加率4.8%)となりました。



その他ローン^(※)残高

422億円

お客様のニーズに応じた幅広い商品ラインアップを取り揃えたほか、お申し込みチャネルの利便性を高めた結果、その他ローン残高は前期比45億円増加し、422億円(年間増加率11.9%)となりました。

※住宅ローンを除く消費者ローン

